

第71回「年次大会」関東甲信越静地区印刷協議会 in 山梨



山梨県印刷工業組合（組合員：33名）依田理事長が、会長を務める関東甲信越静地区印刷協議会（関東10県の印刷工業組合で構成）は、7月5日（金）韮崎市のシャトレゼホテルにらさきの森で、第71回年次大会を開催した。

各県の印刷関係者と来賓・賛助会員など約200名が出席した年次大会では、記念式典・懇親会に先駆け、第一部で上期地区印刷協議会の全体会議、分科会、全日本印刷工業組合連合会の事業報告等が行われ、「価格競争から価格協創へ～Happy Industry人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷業を目指して～」をテーマに価格協創のエコシステム作りを



あいさつをする
依田訓彦理事長

目標とした各社のCSR経営の推進、収益性の向上、経営基盤の強化などが協議され、組合強靱化に繋がる今後の諸事業などが情報共有された。

全体会議で依田会長は、「コロナ禍も終わり人々の動きはかなり回復してきました。過去最高益となる大

手企業決算や設備投資の増加、賃上げの実施、日経平均株価最高値など日本経済も新たな局面を迎えつつあります。しかし、印刷業界は原材料費の高騰、エネルギー価格の高止まり、労務費の上昇等に対して、未だ対価に反映出来ず、さらに社会のデジタルシフトによる需要変化によって苦境が続いております。今後の印刷業界ではそのような経営環境において、不毛な価格競争から互いを高めあう価値づくりの競争へ、そして差異化出来た会社同士が価値を協創する新たなエコシステムを構築する必要があります。」とあいさつを行った。

記念式典では、山梨県印刷工業組合依田理事長の開式のあいさつに続き、国歌を斉唱、印刷産業人綱領の唱和。長崎幸太郎県知事、本県選出国会議員、栗山直樹県中小企業団体中央会会長の祝辞の後、退任役員に感謝状が贈呈された。

懇親会では来賓として韮崎市内藤市長や甲府商工会議所進藤会頭が祝辞を述べ、関東甲信越静地区の参加者が交流を深めた。



担当：鈴木

